

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東  
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 塚野 哲幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 渡辺 勝俊 (TEL) 045-787-8401  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	18,231	0.7	165	△58.9	556	△19.2	459	△14.2
2024年3月期第1四半期	18,109	29.3	403	—	689	174.9	535	373.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,386百万円(0.7%) 2024年3月期第1四半期 1,377百万円(△20.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	47.97	—
2024年3月期第1四半期	55.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	69,222	36,359	51.0	3,686.58
2024年3月期	67,948	35,225	50.4	3,572.22

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 35,326百万円 2024年3月期 34,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期第2四半期末配当金は創業100周年記念配当10円を含んでいます。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	0.6	2,500	2.5	2,400	△22.3	1,800	△0.2	187.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	10,200,000株	2024年3月期	10,200,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	617,555株	2024年3月期	617,555株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	9,582,445株	2024年3月期1Q	9,582,445株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国の金融政策の動向や、地政学的リスク、エネルギー・原材料価格の高騰等による影響が継続しており、先行き不透明な状況となりました。日本においては、円安の進行やコスト上昇分の価格転嫁等、消費マインド悪化へのリスクがあるものの、堅調な企業業績を背景に、設備投資や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、世界的には生産台数が回復基調にあるものの、地域別には市場構造の変化が生じており、特に中国市場での日系車の販売不振・減産影響はさらに顕著となり、厳しい状況が続いております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅産業におきましては、新築住宅着工戸数は、前年度から引き続き人件費上昇と資材高騰の影響等により、戸建て注文住宅・分譲住宅は減少、賃貸住宅及びマンションは前年度とほぼ同水準に推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,231百万円と前年同四半期に比べ、121百万円(0.7%)の増収となりました。利益につきましては、それぞれ営業利益は165百万円と前年同四半期に比べ、237百万円(△58.9%)の減益、経常利益は556百万円と前年同四半期に比べ、132百万円(△19.2%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は459百万円と前年同四半期に比べ、76百万円(△14.2%)の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業(日本)

自動車部品事業(日本)におきましては、得意先での生産台数は前年並みとなり、売上高は2,430百万円と前年同四半期に比べ、60百万円(2.6%)の増収となりました。先行開発強化に伴う固定費の増加等により、セグメント利益は21百万円と前年同四半期に比べ、17百万円(△45.6%)の減益となりました。

#### ② 自動車部品事業(北米)

自動車部品事業(北米)におきましては、得意先での生産台数は前年並みであったものの、為替換算の影響等から、売上高は4,347百万円と前年同四半期に比べ、500百万円(13.0%)の増収となりました。合理化活動等は進捗したもののインフレに伴うコストの高止まりと一部の新品立ち上げロスが続き、セグメント損失は39百万円(前年同四半期はセグメント損失35百万円)となりました。

#### ③ 自動車部品事業(アジア)

自動車部品事業(アジア)におきましては、中国での日系車の販売不振・減産影響を大きく受け続けていること、タイでのローン金利上昇影響による販売減速や生産構成の変化等により、売上高は3,900百万円と前年同四半期に比べ、533百万円(△12.0%)の減収となりました。徹底した改善活動に加え、中国では事業構造改革として拠点集約等による生産能力適正化等を進めておりますが、減収影響が大きく、セグメント損失は121百万円(前年同四半期はセグメント損失177百万円)となりました。

#### ④ 自動車部品事業(欧州)

自動車部品事業(欧州)におきましては、生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は4,217百万円と前年同四半期に比べ、350百万円(9.1%)の増収となりました。合理化活動の進展は図れたものの、一部拠点での大型設備更新工事に伴う生産ロスが発生したこと等により、セグメント損失は95百万円(前年同四半期はセグメント利益6百万円)となりました。

## ⑤ セキュリティ機器事業(日本)

セキュリティ機器事業(日本)におきましては、賃貸住宅市場ではDX推進のアイテムとして非対面での鍵の受渡しができるスマートロックの需要が徐々に増えております。一方で建築資材の高騰を背景とした新築住宅着工戸数減少の影響と、大手賃貸住宅事業者のプロジェクトによる受注は、昨年度に空室及び入居入替え時の設置が一段落したことを受け、住宅関連製品の売上は前年同期を下回りました。ロッカーシステム事業については、レジャー・観光客が増加していることで、ターミナル向けのロッカー販売とオペレーション事業が好調に推移していることと、商業施設やゴルフ場の大型案件受注により、売上は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は3,446百万円と前年同四半期に比べ、372百万円(△9.8%)の減収、セグメント利益は431百万円と前年同四半期に比べ、95百万円(△18.1%)の減益となりました。

## ⑥ セキュリティ機器事業(海外)

セキュリティ機器事業(海外)におきましては、日本向け製品(電気錠)の生産は減少しましたが、タイ国内の樹脂成形部品の受注増及び変動費率は良化しました。この結果、売上高は2,616百万円と前年同四半期に比べ、239百万円(△8.4%)の減収、セグメント利益は335百万円と前年同四半期に比べ、55百万円(19.7%)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は69,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,274百万円の増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ横ばいの、17,588百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が571百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が894百万円減少したこと等により、61百万円減少し、39,871百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定等を含むその他の固定資産が1,074百万円増加したこと等により、1,337百万円増加し、29,339百万円となりました。

流動負債は、未払費用等を含むその他の流動負債が552百万円増加したこと等により、271百万円増加し、24,168百万円となりました。

固定負債は、リース債務が743百万円増加しましたが、長期借入金770百万円減少したこと等により、131百万円減少し、8,694百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が1,148百万円増加したこと等により、1,134百万円増加し、36,359百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の50.4%から0.6ポイント増加し、51.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高75,000百万円、営業利益2,500百万円、経常利益2,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,800百万円を見込んでおります。なお、為替レート的前提につきましては、1US\$=150円、1ユーロ=156円としております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,801	10,372
受取手形及び売掛金	15,246	14,351
電子記録債権	1,144	1,314
商品及び製品	2,694	2,510
仕掛品	1,346	1,667
原材料及び貯蔵品	7,006	7,093
その他	2,765	2,636
貸倒引当金	△71	△73
流動資産合計	39,933	39,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,085	5,161
機械装置及び運搬具(純額)	7,497	7,684
工具、器具及び備品(純額)	2,059	1,984
土地	1,814	1,854
その他(純額)	3,207	4,282
有形固定資産合計	19,664	20,966
無形固定資産		
のれん	781	762
その他	2,424	2,480
無形固定資産合計	3,206	3,243
投資その他の資産		
投資有価証券	4,364	4,070
その他	892	1,188
貸倒引当金	△124	△130
投資その他の資産合計	5,131	5,129
固定資産合計	28,002	29,339
繰延資産	12	11
資産合計	67,948	69,222
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,983	7,867
短期借入金	9,767	9,843
未払法人税等	911	975
賞与引当金	560	357
製品保証引当金	334	309
事業構造改善引当金	363	286
その他	3,976	4,528
流動負債合計	23,897	24,168
固定負債		
社債	1,025	1,025
長期借入金	5,300	4,530
退職給付に係る負債	307	270
資産除去債務	42	42
リース債務	898	1,642
その他	1,250	1,182
固定負債合計	8,825	8,694
負債合計	32,723	32,862

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,962	2,962
利益剰余金	19,903	20,110
自己株式	△551	△551
株主資本合計	25,074	25,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,573	2,314
為替換算調整勘定	6,582	7,730
その他の包括利益累計額合計	9,156	10,045
非支配株主持分	994	1,033
純資産合計	35,225	36,359
負債純資産合計	67,948	69,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	18,109	18,231
売上原価	15,557	15,709
売上総利益	2,552	2,521
販売費及び一般管理費	2,148	2,355
営業利益	403	165
営業外収益		
受取利息	13	18
受取配当金	26	37
為替差益	324	361
不動産賃貸料	6	6
助成金収入	3	21
その他	14	39
営業外収益合計	389	484
営業外費用		
支払利息	88	91
その他	15	2
営業外費用合計	103	93
経常利益	689	556
特別利益		
固定資産売却益	0	6
子会社清算益	-	10
特別利益合計	0	16
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
災害による損失	-	21
特別損失合計	0	22
税金等調整前四半期純利益	689	551
法人税、住民税及び事業税	264	174
法人税等調整額	△60	△76
法人税等合計	203	97
四半期純利益	485	453
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△49	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	535	459

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	485	453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	△259
為替換算調整勘定	807	1,192
その他の包括利益合計	891	933
四半期包括利益	1,377	1,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,403	1,348
非支配株主に係る四半期包括利益	△26	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	1,845	3,821	4,136	3,814	3,698	778	18,094	—	18,094
その他の収益	—	—	—	—	15	—	15	—	15
外部顧客への 売上高	1,845	3,821	4,136	3,814	3,713	778	18,109	—	18,109
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	523	25	297	53	105	2,076	3,082	△3,082	—
計	2,369	3,846	4,434	3,867	3,819	2,855	21,192	△3,082	18,109
セグメント利益 又は損失(△)	38	△35	△177	6	527	280	639	△236	403

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△250百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	1,917	4,346	3,612	4,102	3,425	812	18,216	—	18,216
その他の収益	—	—	—	—	14	—	14	—	14
外部顧客への 売上高	1,917	4,346	3,612	4,102	3,439	812	18,231	—	18,231
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	512	0	288	115	7	1,803	2,727	△2,727	—
計	2,430	4,347	3,900	4,217	3,446	2,616	20,958	△2,727	18,231
セグメント利益 又は損失(△)	21	△39	△121	△95	431	335	532	△366	165

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	764百万円	821百万円
のれんの償却額	77	48